



平成 30 年 3 月 27 日

各 位

上 場 会 社 名 四国電力株式会社  
代 表 者 取締役社長 佐伯 勇人  
(コード番号 9507、東証市場第一部)  
問 合 せ 先 経営企画部 企画グループリーダー 井原 剛志  
(TEL 087-821-5061)

## 伊方発電所 2 号機の廃止について

当社は、本日、取締役会において、伊方発電所 2 号機の廃止を決定しましたのでお知らせいたします。

伊方発電所 2 号機については、これまで新規規制基準への適合や 40 年超運転に向けて必要となる具体的対策等の検討を進めてまいりました。

その結果、安全対策に係る 2 号機固有の制約として、タービン建家の耐震補強、非常用海水取水設備の造り替えなど大規模かつ長期間を要する耐震対策工事が必要となるなかで、再稼働した場合の運転期間、出力規模など様々な要素を総合的に勘案し、廃止することとしたものであります。

また、当社は、本日、電気事業会計規則に基づく申請（原子力廃止関連仮勘定承認申請等）を経済産業大臣に行う予定です。当該手続きにより、資産の残存簿価等、廃止決定時に一括して費用計上する必要のあるものについて資産計上したうえで、一定期間をかけて償却・費用化することが可能となるため、廃止決定に伴う業績への影響は軽微となる見込みです。

当社としましては、今後、伊方発電所 2 号機の廃止に伴う各種手続きを確実に進めるとともに、安全確保を最優先に 1 号機と併せ廃止措置に取り組んでまいります。

今回の 2 号機廃止に伴い、伊方発電所の運転プラントは 3 号機一基となりますが、今後とも重要な基幹電源として位置付け、技術力の維持・継承を図りながら、安全・安定運転に万全を期してまいります。

以 上

別紙：伊方発電所 2 号機の概要

## 伊方発電所2号機の概要

伊方発電所2号機は、昭和57年3月19日に営業運転を開始して以降、設備利用率は80%を超えるなど、地域の皆さまのご理解をいただきながら、安定的な運転を行ってまいりました。

## [設備概要]

設置場所	愛媛県西宇和郡伊方町
炉型	加圧水型軽水炉
出力	56.6万kW
燃料集合体数	121体

## [主な経緯]

年月日	内容
昭和50年5月30日	原子炉設置変更許可申請
昭和52年3月30日	原子炉設置変更許可
昭和53年2月21日	建設工事開始
昭和57年3月19日	営業運転開始
昭和61年12月31日	暦年(昭和61年)設備利用率世界最高を記録(99.96%)
平成6年1月23日	通算発電電力量500億kWhを達成(営業運転開始後)
平成18年8月27日	通算発電電力量1,000億kWhを達成(営業運転開始後)
平成24年1月13日	第23回定期検査により停止

## [発電実績]

総発電電力量	1,222億kWh
設備利用率	82.0%*

※平成23年度末までの累計

以上